

令和6年度 学校評価報告書

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高める！」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進
- II. 地域に貢献し、愛される学園を目指す
- III. 学園の運営基盤を強化する

評価 3：優れている 2：適切 1：改善が必要

評価項目	成果と課題	評価	学校関係者評価および次年度の取り組み
1. 教育理念・目的・人材育成像	学校案内、ホームページ及び学生便覧等において、教育理念・人材育成像、ならびにアドミッション、カリキュラム、ディプロマの各ポリシーを学校の内外に向けて明示し、理解に努めた。	2.75	伝統校として教育理念に相応しい人材育成像が示されています。今後も地域社会から求められる人材育成に引き続き努めることを期待します。
2. 学校運営	学園テーマ、重点目標達成に掲げた学校経営計画を立案。全体会議等を通じて教職員の共通理解に努めつつ、目標達成に務めた。令和6年度は新任教員3名を迎え、学校業務について説明・指導を行いながらほぼ計画どおりの学校運営を行うことができた。 学園教職員研修にて「働きやすい職場づくり」をテーマに社会保険労務士を迎えて講演・ディスカッションを行い、教職員間の良好なコミュニケーションに務めた。	2.5	学校経営計画を立案し、目標達成に向けてPDCAサイクルで努力している点は評価に値します。 職場環境は教職員間の良好な人間関係が重要であるので、関係性の質向上に努めてほしい。
3. 教育活動	1) カリキュラム あはき師養成施設指定規則、および国家試験出題基準等を踏まえつつ、時代のニーズに対応するカリキュラムを編成。また、教育課程編成委員会の意見を反映し、改善に努めた。また、職業人としてのプロフェッショナルリズムなどを学ぶことを目的に、業界で活躍する関係者を講師として招聘した。 2) 分かりやすい授業への取り組み 教員による自己点検評価、学生による授業評価、校長等による授業参観及びフィードバックにより授業の改善向上に努めた。	2.75	法令遵守などの自己点検は良好であり、教育活動は大変充実しています。 「分かりやすく授業への取り組み」について、組織的に継続して努めることを期待します。

<p>3. 教育活動</p>	<p>3) 適切な成績評価 単位認定、進級・卒業認定等の基準を定め、これに基づく適正評価に努めた。試験においては必要度・難易度から十分吟味した問題の作成に努めた。</p> <p>4) 教職員の資質向上 新たに採用した教員については、静岡県職業教育振興会が主催する新任教員研修に参加。その他、東洋療法学校協会第47回教員研修会およびICT教育関連のセミナー、鍼灸関連学会等に参加し、資質向上に努めた。</p> <p>5) 臨床実習 あん摩臨床実習は、校内において地域住民等に患者として協力して頂き行うことができた。また、あはき師臨床実習指導者による施術所臨床実習は8施術所において実施、施術者としての態度・技能の向上に努めた。</p> <p>6) その他の教育活動 4月にレクリエーション大会、10月に学園祭を開催し、教職員や学生、地域住民との交流・親睦を図ることができた。8月には鶴見大学歯学部にて解剖見学実習(2年生対象)を行った。また、山田講師、神田講師の臨床実技を中心とした特別授業を行った。 放課後の課外コースとして、伝統鍼灸、Beauty、手技療法、訪問施術、の各コースを開講、またATコース入門編としてスポーツアドバンスコースも開講して学生たちのスキルアップに努めた。</p>		<p>「学生が学ぶ喜びを感じられる、成長を感じられる教育を実践する」との理念のもと、今後も実践してほしいと思います。</p>
<p>4. 学修成果</p>	<p>進級率・卒業率の維持向上のため、面談による問題発見・助言に努めたが、中途退学者は7名であった。(理由は進路変更)また、卒業認定試験後の学習サポートに努めたが、留年者は6名であった。休学者は、健康上の理由で1名であった。</p> <p>年間を通じて国家試験対策授業の実施、向上学習など合格率向上に努め、あん摩マッサージ指圧師試験100%、はり師試験90%、きゅう師試験は90%であった。</p> <p>東洋療法学校協会によるはりきゅう実技評価を受け、受験者全員が合格した。</p> <p>日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー認定試験について、令和6年度AT理論試験に4名が受験し2名が合格した。2名は実技試験を受験した。</p>	<p>2.0</p>	<p>あん摩マッサージ指圧師国家試験の合格率100%達成と、はり師、きゅう師の合格率が全国平均を上回ったことは評価に値します。その一方で、今後は中途退学者と留年者の減少に努め成果を出せるよう期待します。</p> <p>技術等の評価について、他校の教員による評価を受けることは意義があると考え、今後も継続してほしいと思います。日本スポーツ協会アスレティックトレーナー試験は難易度が高い中、合格に向けたサポートが充実しています。</p>

<p>5. 学生支援</p>	<p>1) 進路相談 ①就職ガイダンスを11月に開催。参加企業等は28件で、都道府県別では、静岡県10件、神奈川県4件、東京都9件、千葉県1件、愛知県2件、大阪府1件、福岡県1件であった。②キャリアマップアプリでの求職セミナーに参加するなど、多岐に渡る活動を継続した。③求人数は582件（キャリアマップ：481件、学校直接の求人依頼：101件）であった。前年度は459件（キャリアマップ359件、学校直接100件）であり、1.2倍強増加した。但し、学校へ直接提出される求人については横ばいであった。 2) 健康管理 学校保健安全法に基づき、5月、学生及び教職員の健康診断を実施した。感染症対策として、引き続き校内での手指消毒、衛生管理に努めた。また、B型肝炎予防接種を実施、感染防止に努めた。 3) 生活相談 ①日本学生支援機構奨学金（高校新卒者に対する予約採用、在学採用、社会人に対する在学採用）に関する相談、貸与申請、継続手続きなどの支援に努めた。②授業料等納付困難な学生に対し、分割納付を助言、指導した。③校友会奨学金制度に基づき、対象学生に給付した。④高等教育の修学支援制度の継続認定を受け、対象者に対し給付型奨学金と連動した授業料減免制度の申請、手続き等を行った。利用者は全学年で5名であった。⑤専門実践教育訓練給付金（社会人向け）の更新申請（3年毎）を行い、認定を得た。⑥臨床心理士による学生相談を実施、学習や生活についてのサポートに努めた。</p>	<p>2.75</p>	<p>卒業後の進路についての相談、求人先の紹介だけでなく、企業の担当者と直接対話ができる機会も設けていることは、学生にとって貴重な情報収集、学習の場となっていると思います。就学における経済的な相談に対するサポートもしっかりできています。また、生活面や心理的な面でのサポートも評価できます。</p>
<p>6. 教育環境</p>	<p>1) 施設・設備の構造・面積等を法令に準拠している。 2) 図書室に飛沫防止のためのパネルを設置している。 3) ICT教育開始に備え、1号館に学生用Wifi設備を整備している。 4) 非常放送設備、防災報知装置等の定期点検を実施した。 5) 各階の防犯カメラを新型のものに入替、安全対策の向上に努めた。 6) 屋上の防水工事を行い、想定外の災害に備えた。 その他、教具・図書等の充実に努めた。</p>	<p>2.75</p>	<p>ICT教育が進む中、様々な教育設備が必要となります。とくに医療系専門学校ならではの教育環境の整備も必要となりますので、限られた予算の中で適切な配分に努めてほしいと思います。</p>

7. 学生募集 および受け入れ	<p>アドミッションポリシー及び学生募集要項に基づき、適正に実施している。</p> <p>1) 入学定員充足率は100%であった。</p> <p>2) インターネット出願を継続利用し、出願手続きに対する簡素化を行った。</p> <p>3) 本校の情報を、適宜学校ホームページやSNS等で発信した。</p> <p>4) オープンキャンパスを開催し、本校の魅力発信に努めた。</p> <p>高校生対象の入試説明会、社会人対象の夜間の学校説明会も例年通り開催した。</p> <p>5) 業者主催による進学相談会（会場型、高校内）へ参加。高校訪問を積極的に行った。</p> <p>6) 新入生プレスクールを実施。感染症対策に努めつつ、新入生同士のコミュニケーション、学習への意欲向上、基礎学力の把握等に努めた。また、保護者に対しても学習支援の説明・協力を求めた。</p> <p>7) 静岡東部地区3校にて出張授業を行った。</p>	2.5	少子化が進み、学生募集が厳しい中で、定員充足できたことは高く評価します。今後も様々な努力と工夫を期待します。
8. 財 務	健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。月毎に公認会計士による決算書の確認、年度初めの学園監事による会計監査など、会計処理は適正に実施されている。	2.75	引き続き健全な学校経営を期待します。
9. 法令等の遵守	専修学校設置基準、職業実践専門課程の規程、養成施設認定規則および同指導ガイドライン等の法令を遵守している。前年度の学校運営について学校関係者評価を実施、その結果を公開した。令和7年4月より施行される私立学校法の改正に伴い、寄附行為変更の申請並びに認可を得た。	2.75	今後も継続して法令遵守と、職業倫理に基づいた学校運営を期待します。
10. 社会貢献・ 地域貢献	<p>静岡県立伊豆伊東高校と教育連携において、スポーツ健康類型におけるスポーツ概論の授業を本校教員が担当した。</p> <p>施術所の運営を通じて、市民の保健衛生の向上に寄与した。</p> <p>熱海市社会福祉協議会、熱海市内の福祉関係者と連携し、熱海市福祉祭りおよび伊豆山地区サロン活動に参加した。</p> <p>全国定時制高校バドミントン大会、国民スポーツ大会(佐賀)が開催され、選手のサポート活動を行った。近隣高校の部活動におけるAT現場実習を兼ねたサポートは継続している。</p> <p>熱海市が主導している熱海市人材バンクに登録し、熱海市民を対象に身体づくり教室を開講した。</p>	2.75	地域の方々に愛され必要とされることが今後益々重要。活動を地域の方々に知ってもらえるよう、情報発信に努めてください。更なる貢献を期待いたします。

東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会

日 時 令和7年5月15日（木）16:00～17:30

場 所 東海医療学園専門学校会議室

出席者 学校関係者評価委員会

委員長 矢田 真樹 （校友会監事・静岡県鍼灸学術研修会会長）

委 員 齊藤恭二郎 （公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

委 員 中村 聡 （静岡県保険鍼灸マッサージ師会会長）

委 員 井出 啓之 （とがみえん児童クラブ理事長）

委 員 澁谷 哲平 （校友会副会長）

教職員 杉山 誠一 （校 長）

城 茂高 （事務長）

水野 浩一 （教務課長）

城田 健吾 （教務課長補佐）

太田 一郎 （臨床センター長）

金川 小百合 （ATコース長）